

これからの日本の流通における 製配の最適な連携のあり方、成長戦略を模索する

— 独自の発展を遂げた日本の流通市場に見る競争 —

「流通革命」から50年

第1部は、著書『日本の問屋は永遠なり』をベースに、加工食品卸売業を中心とした日本の問屋のもつ役割と機能が小売・メーカーの“効率化”や“収益性”にどのように貢献しているのか、アナリストの視点による調査・分析の概要について解説講演していただきます。90年代以降の卸急成長の理由を検証すると共に、今後の展開可能性、SCMの将来像、食品業界における競争の方向性と覇権構造の行方を探ります。第2部は、製配を代表し加藤産業様、ハウス食品様をゲストにお迎えし、最適なパートナーシップの構築と、それを元にした成長戦略を考えていきます。

プログラム

I 14:00～15:10 講演「日本の問屋は永遠なり」

- ① 1990年代以降の卸売業急成長の背景
- ② 機能・役割を通じて見た食品流通市場の構造 ～海外との比較～
- ③ 食品業界における競争の方向性、覇権構造の行方

■ 講師：H&Lリサーチ 代表／証券アナリスト 有賀 泰夫 氏

埼玉大学生化学科卒業後、新日本証券へ入社。1982年から30年に亘り、アナリストとして業務に従事。95年から食品、食品卸を担当。現在は、食品、食品卸に加えて外食や食品関連小売業をカバー。クレディ・リヨネ証券、三菱UFJモルガンスタンレー証券でシニアアナリストとして活躍後、独立。機関投資家、個人投資家向けに情報を提供する。



II 15:25～16:25 パネルディスカッション「日本型流通への対応」

■ パネラー：加藤産業株式会社 代表取締役社長 加藤 和弥 氏

1994年一橋大学大学院経済学研究科修士課程修了。同年加藤産業入社。95年取締役社長室長、96年同物流部長、97年同ロジスティクス担当兼営業企画部長。99年常務取締役ロジスティクス担当兼営業担当補佐、2000年同システム本部長兼営業本部長補佐、01年専務取締役管理本部長・システム本部長兼関連事業本部長。03年より現職。



■ パネラー：ハウス食品株式会社 代表取締役社長 浦上 博史 氏

1988年慶応義塾大学理工学部卒業。91年ボストン大学経営修士課程卒業。91年住友銀行(現・三井住友銀行)入行。97年ハウス食品入社。2002年同社経営企画室長兼営業副本部長、02年同社取締役、04年同社代表取締役(現任)、04年同社代表取締役副社長。09年より現職。



■ コーディネーター：H&Lリサーチ 代表 有賀 泰夫 氏

III 16:25～17:00 名刺交換会

- 日時：平成24年10月11日(木) 14時～17時【受付開始13時30分～】
- 会場：明治記念館 曙【1階】(東京都港区元赤坂) ※裏面地図
- 受講料：15,000円(税込み) ※裏面申込書



日本食糧新聞社 事業本部 担当：合志(ゴウシ)・中山
電話 03-3432-4664 FAX 03-3459-4654
〒105-0003 東京都港区西新橋2-21-2 第1南桜ビル



日本食糧新聞・創刊 70 周年記念 特別セミナー 申込書

【10月11日 開催】

FAX で 03-3459-4654 までお申し込み下さい。

◇受講申込後、請求書を発行いたします。

◇ご希望に○をお付けください。(請求書希望 ・ 当日現金払希望)

◇当日はお名刺をお持ち下さい。(お名刺は、受付確認、今後の弊社にかかわる
事業案内以外には使用いたしません。)

平成24年 月 日

会社名			
住所	〒	-	
電話:	お役職		FAX:
			お名前

* 第2部は製配のパートナーシップの構築と成長戦略をテーマに進めてまいります。ご質問等がございましたらご記入下さい。パネルディスカッションの参考にさせていただきます。(質問者の会社名やお名前は明かしません)

--

会場案内

【会場】明治記念館 曙【1階】

東京都港区元赤坂2-2-23

TEL:03-3403-1171

<http://www.meijikinenkan.gr.jp/access/>

- JR 中央・総武線「信濃町駅」徒歩 3 分
- 東京メトロ銀座線・半蔵門線・都営大江戸線
「青山一丁目駅」(2 番出口)徒歩 6 分
- 都営大江戸線「国立競技場駅」(A1 出口)徒歩 6 分

